

高等部 生活単元学習の取組

天王みどり学園の高等部は、月曜日の5・6校時と金曜日の5・6校時に生活単元学習に取り組んでいます。高等部は、卒業後の社会生活を念頭におき、より地域を意識した活動が多くなります。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、例年のようにどんどん地域に出向いて活動することが難しく、制限も多い中ですが、生徒たち自身が「今、できること」を考え、工夫し、協力しながら取り組んでいます。今回は各学年の軸となっている単元を紹介します。

1年「コロナ撃退プロジェクト」



【手洗いCMの制作】

「友達や身近な方々を笑顔にしよう」をテーマに、コロナウイルスの影響でやや気持ちの沈みがちな日常を明るくしようと始まったプロジェクトです。コロナ撃退に関することを調査し、その内容を基に、予防するためにはどうしたらよいか調査したり、撃退方法について考えたりして報告しました。現在は、調査で浮上した『アマビエ』からヒントを得て、秋田の『なまはげ』について調査し、より地域に根差した報告の準備をしています。

2年「地域勝手に応援団」

潟上、男鹿、南秋の三つのグループに分かれて、特産物を調べる学習をし『高等部まつり』や『学園祭』等で、それぞれのグループに分かれて出店し、販売活動を行いました。看板やのぼり、ポスター等を準備し、接客練習を重ね、コロナ禍でお客さんとの接触が制限される中、事前注文等の工夫をしながら販売しました。合わせて、地域の特産物について掲示物を作り、地域の紹介も行っています。



【高等部まつり2020】

3年「クッションプロジェクト」



【追分駅のクッションをリニューアル】

いつも登下校等でお世話になっている追分駅の待合室に、手づくりのクッションを設置しています。2年前から高3で行ってきたプロジェクトを受け継いで始めましたが、今年は新たに土崎駅へのクッションの設置を行いました。「クッションの制作」「制作の過程を記事にした新聞づくり」などで、人の役に立つプロジェクトを立ち上げ、地域に発信しています。

特別支援学校のセンター的機能から

本校では、特別支援教育セミナーや、学校・園などからの依頼を受けた相談等で、幼稚園や保育所、小・中学校、高等学校等に訪問する機会があります。また、特別支援学級を担当する先生方を対象とした『みどりアシスト相談会』も行っています。様々なことで悩まれているケースもありますが、悩みながらも特別支援の観点から工夫を積み重ねている学校、園も増えてきています。

今回は、その中での具体的な相談内容や、学校・園等で工夫されている取組について御紹介します。

幼稚園・保育所・認定こども園等にて

相談内容としては、「集団に入れない」「片付けになってもいつまでも遊ぶ」「友達をたたいたり蹴ったりしてしまう」などが多く見られます。

訪問した際は、そのお子さんの実態を聞きながら、園や学級全体でできること（視覚支援、見通しのもたせ方など）、個別に対応したいこと（実態把握、予告の仕方、クールダウンなど）について一緒に考えています。

『簡単な個別の指導計画の立て方』として全員で演習した園もあります。



小学校にて

特別支援教育セミナーでは、時間割や年間指導計画の立て方など学級運営にかかわることから、実態に合わせた学習内容や自立活動のもち方などの相談がみられます。

本校で行っている『みどりアシスト相談会』では、セミナーでのアドバイスを受けて実践したことや、その続きの相談としていらっしゃる方もいます。保護者とのやりとりや具体的な学習内容について一緒に考えることもあります。実際に本校の教室にある教材を写真に撮って参考にしている先生もいらっしゃいました。



中学校にて

中学校になると、小学校と違い教科担任制になり、特別支援学級でも、交流学級での学習がある場合は様々な先生と関わることとなります。それによって生徒自身の戸惑いや先生方の指導上の迷いが見られることがあります。

特別支援教育セミナーの機会に、一人の生徒について教科担任全員が一堂に会して情報交換・協議をする、という学校が徐々に増えていきます。特学の生徒であれば個別の指導計画をもとに共通理解を図る、通常学級の生徒でも学校独自に情報交換シートを作成して活用している例もあります。



各校園で見られた工夫

- 始まりの会や自由遊びの終わりなど活動の切り替えでは、5分前に放送や片付けの音楽を流すなどして知らせる。
- 保育室や教室の一角に、本人がクールダウンできるスペースを設ける。
- 見通しがもてるように、教室に1日の予定表を掲示する。（本人が分かるように）
- 座席の配慮（集中のしやすさ、教師との位置関係、友達同士の関係性など）
- 1時間の授業の組み立て方を工夫する。（活動の順番、作業量、座学の間動きのある活動を設けるなど）
- 板書やプリントを構造化する。（量、字の大きさ、見やすさ等）

今後も地域の子どもたちのことを、一緒に考えていきたいと思っております。お気軽に御相談ください。

地域研修会(みどりアシスト研修会)を開催しました

10月26日(月)に、地域の各校園の先生方と本校職員を対象にした地域研修会を行いました。今年度はホームページ上のみの御案内でしたが、幼稚園・保育所の先生方からお申し込みをいただきました。

「発達障害の特性と支援」 ～特別でない特別な支援を一人ひとりに～

講師：天王みどり学園 教諭(兼)教育専門監 新目 敏子



合理的配慮や障害者差別解消法など特別支援教育の理念や動向から、発達障害の基本的な知識や具体的な支援、問題行動の捉え方と自己解決に向けた方法まで、幅広い内容が取り上げられました。参加者の先生方からは、「叱るときの対応が参考になりました。」「今後はアイメッセージを伝えていきたいです。」「支援の必要な子どもへの対応について園に持ちかえって共有し関わりを話し合いたいです。」「『受容はするが許容はしない』という対応の仕方が参考になりました。」などの感想をいただきました。

研修会の終了後に個別相談会

希望する参加者には、終了後に個別相談を行いました。支援の必要な子どもに対する支援の仕方について、具体的に話し合われました。

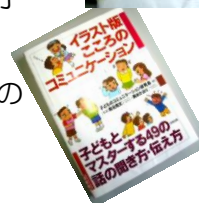
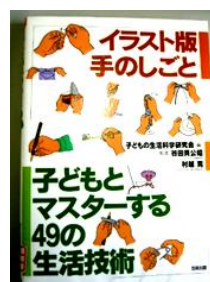
今回はコロナ禍ということで積極的なお知らせはしませんでした。来年度は状況がよくなっていることを願い、より多くの方に参加していただけるように御案内したいと思います。

図書紹介

合同出版
「イラスト版 手のしごと
子どもとマスターする49の生活技術」

生たまごの割り方やりんごの皮むきなど食生活に関わること、ひもの結び方など衣生活に関わること、ぞうきんの使い方など住生活に関わることなど、具体的な手順がイラストで描かれています。子どもにとっても、子どもに教える大人にとっても参考になることが多いです。

様々な「イラスト版〇〇シリーズ」がある中で、本校では児童生徒用の図書として右の3冊を購入しています。



相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭：福士 智子 地域支援部 遠藤 美和子

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612